

2022年4月7日

在校生・保護者 各位

桜美林中学校・高等学校
校長 堂本 陽子

学校のオミクロン株感染対策について

陽春の候、皆様には新たな気持ちで新年度を迎えたことと思います。日頃から学校教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、現在新型コロナウイルス感染症の感染拡大は落ち着いているものの、増加へ転じる気配もでてきております。今後もオミクロン株の特徴を踏まえた感染対策を講じながら学校活動を安全に進めていきたいと思っております。

つきましては、生徒の感染や濃厚接触者が確認された場合について、次の通り対応してまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

記

1. 陽性者が判明した場合の対応について

- 生徒や教職員に陽性者が発生した場合、濃厚接触者等の特定のための調査は、通常、保健所が行います。ただし、地方自治体により学校での濃厚接触者の調査を行わない場合があります。その際は感染状況等を踏まえ、文部科学省のガイドラインを参考に、陽性者からの聞き取りなどにより学校内での濃厚接触者の候補者を特定し、自宅待機とすることがあります。
- 調査対象期間は感染者が感染可能期間（発症 2 日前、無症状の場合は陽性確定にかかる検体採取日の 2 日前）から自宅待機するまでとします。
- 学校が特定した濃厚接触者の候補者については、自宅待機とした日は欠席とはせず、出席停止とします。自宅待機期間は、陽性者と接触した最終日を 0 日として翌日から原則 7 日間とします。
- 濃厚接触者の候補者は、下記の状況などを確認し、学校医と相談の上決定します。
 - 手で触れることのできる距離（目安で 1メートル）で、
 - 必要な感染予防策なし（マスク着用なし、またはマスクを適切に着用していない場合）で、
 - 陽性者と 15 分以上の接触があった生徒（例えば陽性者と会話していたなど）
- 学校で陽性者と接触があったことのみを理由として登校を制限することはありません。

2. 学級閉鎖等の対応について

- 学校内で複数の陽性者が判明し、濃厚接触者等が多数見込まれるなど、更なる感染の拡大が懸念される場合には、学級閉鎖等の対応を行い、校内での感染拡大を防止します。
- 陽性者の判明から濃厚接触者の候補者の特定に要する期間は学級閉鎖などの対応は行いません。

【学級閉鎖などの対応基準】

対応	基準など
学級閉鎖 (クラブの 活動停止 も同様)	同一学級で7日間以内に学校内での感染が疑われる場合 (例) ①学校内での感染が疑われる陽性者が複数名判明 ②陽性者が判明し、その陽性者に対する濃厚接触者以外で複数の陽性者または有 症状者が判明 ➡日曜、祝日などを含めて3～5日程度学級閉鎖を実施する。 ※陽性者が判明し、その陽性者に対する特定の接触者が陽性となった場合でも、ただちに 学級閉鎖とはせず、さらに感染が拡大するかどうかを判断したうえで対応します。

3. 部活動における対応について

大会などが2週間以内に行われないクラブは週3日(日曜日を含めて週4日)活動可、大会等の2週間前のクラブは週4日(日曜日を含めて週5日)活動可としています。

- 陽性者の行動歴から陽性者の感染可能期間(発症2日前、無症状の場合は陽性確定にかかる検体採取日の2日前)に部活動に参加し、マスクを外して活動している状況などが判明し、感染拡大の懸念がある場合は3~5日間活動を停止します。
- 部活動開始前または終了後に学校外で飲食(黙食の監督のいない校内の飲食を含む)をしていた場合も活動を停止します。
- 部活動の形態により、チームなどに分かれて行動しているなど明らかに陽性者との接触の範囲が限定される場合には、必要な範囲の活動の停止などを検討します。

4. 登校に関して

- 本人が陽性となった場合や濃厚接触者に特定された場合は、保健所または医師の指示に従ってください。保健所または医師の指示による自宅療養、自宅待機の期間は登校しないでください。
- ご家族が濃厚接触者となった場合は、健康観察を慎重に行っていただき、無症状の場合は登校しても構いません。
 - ① 風邪症状等がある場合は、医療機関を受診してください。
 - ② 欠席する場合、その旨をご連絡ください。出席停止とします。
- 学校内での活動により感染が疑われる場合は、一定期間(原則7日間)出席停止とする場合があります。
- 学校内での感染者の情報につきましては、下記のURLよりご確認ください。

2022年度新型コロナウイルス感染者情報 URL [Bit.ly/3j6NJsw](https://bit.ly/3j6NJsw)

以上